

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 教育総務費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

1教育の機会均等の推進

・子供たちに適正な教育環境を提供するため、学校規模適正化を保護者・地域住民との丁寧な意見交換を通じてすすめる。

また、学校規模適正化に伴う遠距離通学者の通学手段や公共交通の乏しい中山間地区の校外学習の移動手段を確保する。

2教育行政の運営統括

・教育行政の意思決定を行う教育委員や実務を担う事務局及び学校職員に対して、その基礎的部分を整備する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	378,787
	決算	
	事業費 (A)	250,410
	人件費 (B)	122,860
	報酬 (C)	5,517

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
規模適正化対象校での意見交換会実施率	%	100	目標	100
			実績	
教育委員の活動回数	回	60	目標	60
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学校規模適正化推進事業		○		20,504	1,472	2.7				132
2	通学支援事業				191,221	187,721	0.5				
3	中山間地域校外学習支援事業				6,800	4,000	0.4				
4	教育施設等管理事業				52,277	37,197	0.9		0.9	2.3	
5	教育総務運営経費				107,985	20,020	9.8		0.1	4.9	5,385
計					378,787	250,410	14.3	0.0	1.0	7.2	5,517

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学校規模適正化推進事業

◇事業目的・事業対象

教育環境向上のため、地域・保護者・学校との連携の中で学校規模適正化を推進するもの。

◇事業の概要

学校規模適正化基本方針に基づく学校規模適正化推進事業

- ・小規模校(6学級以下)の保護者等との意見交換会の開催
- ・大規模校(25学級以上)への対応策の検討
- ・はままつの教育推進会議の開催
- ・規模適正化推進だよりの作成、関係地域への配布
- ・小中一貫校設置に向けた取組検討
- ・校外学習に対する移動手段の支援(学校規模適正化により統廃合が行われた中山間地域以外の市立小・中学校及び幼稚園)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H14	-	一般会計	自治事務(その他)		-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,472
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	1,472
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		132
人件費 (千円)		18,900
人工	正規	2.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
規模適正化対象校での意見交換会実施率(%)	-	100			100
対象校(園)での校外学習経費支援率(%)	-	100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 学校規模適正化推進事業

◇取組概要

学校規模適正化基本方針に基づき、対象校の現状・課題等を検証しながら適正化を推進する。

◇行財政改革の視点 3 ファシリティマネジメントの推進

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する口にチェック)

行政経営計画 取組番号 _____
取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 浜松市学校規模適正化基本方針、年度取組状況報告

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		0	0	0	0	0

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 通学支援事業

◇事業目的・事業対象

学校規模適正化に伴う学校の統廃合及び各地域の地理的条件等により遠距離通学となる児童・生徒等が安心して利用できる通学手段を確保するため、対象地域において通学(通園)バスを運行するもの。

◇事業の概要

- ・対象地域 浜松:都田小、庄内小、北庄内幼 浜北:麿玉小、宮口幼
 天竜:横山小、清竜中、光が丘中、竜川幼 春野:全小・中学校、気田幼
 佐久間:佐久間小、佐久間中 水窪:水窪小、水窪中
 引佐:井伊谷小、引佐北部小、伊平幼、引佐北部みさと幼
 三ヶ日:三ヶ日東小
- ・運行形態 業務委託
- ・運行車両 市車両、リース車両

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H17	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	187,721
	決算	
	国・県支出	5,140
	市債	6,800
	その他	30,000
	一般財源	145,781
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
対象地域での運行実施率(%)	-	100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 中山間地域校外学習支援事業

◇事業目的・事業対象

学校規模適正化により統廃合が行われた市立小・中学校及び幼稚園で教育活動の一環として実施される校外学習について、移手段の確保及びその経費にかかる保護者負担の軽減を図るため、活動に対する移動経費の一部を支援するもの。

◇事業の概要

【通園・通学バス運行事業】

- ・対象校(園) 天竜:横山小、清竜中、光が丘中、竜川幼 春野:全小・中学校、気田幼
 佐久間:佐久間小、佐久間中 水窪:水窪小、水窪中
 引佐:引佐北部小、伊平幼、引佐北部みさと幼
- ・運行形態 通学バス運行管理業務委託業者との業務委託(随意契約)等
- ・運行車両 通学バス等を使用

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H26	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	4,000
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	4,000
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,800
人工	正規	0.4
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
対象校(園)での校外学習支援率(%)	-	100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 教育施設等管理事業

◇事業目的・事業対象

教育委員会事務局の所在する施設の適正な維持管理や学校等の関係施設間との文書運搬業務等を通じて、職員の円滑な事務処理及び来庁者に対する利便向上を図る。
 また、小・中学校における不測の事故等による損害賠償請求に関して、市の財政的損失を最小限に抑えるため、損害賠償保険に加入する。

◇事業の概要

1 イーステージ浜松オフィス管理事業

事務局の入居するイーステージ浜松オフィス棟5・6・7階に関する警備・清掃業務等の委託及び空調管理業務の実施。施設修繕の随時実施。公用車管理のための併設駐車場の借り上げ、来庁者に対する駐車料金の補助。

2 学校管理者賠償責任保険料

市が管理する学校施設の構造上の欠陥や管理上の不備、学校業務遂行上の不注意が原因となる事故等で、児童・生徒又は第三者が身体上の障害(死亡を含む)又は財産の破壊を被ったことにより、市が法律上の賠償責任を負う場合の賠償金を補填するための保険加入。

①保険の種類 全国市長会学校災害賠償補償保険

②契約内容 ・身体賠償 1人につき1億円上限 1事故につき10億円上限 ・財物賠償 1事故につき2,000万円上限

3 教育施設連絡調整事業

事務局と小・中学校等の施設間の文書運搬業務を委託にて実施。連絡調整に使用する公用車の維持管理。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H12	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	37,197
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	436
	一般財源	36,761
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		15,080
人工	正規	0.9
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	0.9
	非常勤	2.3

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
市の賠償金に係る保険による補償割合(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 教育総務運営経費

◇事業目的・事業対象

教育委員会運営業務及び児童・生徒の学籍関係事務等を通じて、教育委員及び事務局職員の円滑な事務処理及び市立学校に在籍する子供の適正な学籍処理を図る。

◇事業の概要

- 1教育委員会の運営
 - ・教育委員会会議の開催
定例会、臨時会(移動教育委員会を含む)
 - ・教育委員の活動支援
教育委員会会議や総合教育会議の出席、学校等施設への訪問、各種会議及び研修会への出席等
- 2児童・生徒の学籍管理
 - ・児童・生徒の就学に関する業務
 - ・小・中学校の通学区域に関する業務
 - ・教科書の無償給与業務
 - ・小学校入学祝い品及び中学校卒業記念品の贈呈業務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S27	—	一般会計	自治事務(法令義務)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校教育法	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	20,020
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	500
	一般財源	19,520
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	5,385
	人件費 (千円)	82,580
人工	正規	9.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	0.1
	非常勤	4.9

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
教育委員の活動回数(回)		60			60

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 小学校教育総務費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

保護者の経済的負担を軽減し、すべての子供が安心して就学し、学び続けることができる教育環境を整備する。

- 1 発達支援教育推進事業
- 2 就学援助事業
- 3 通学支援事業
 - ・遠距離通学費援助事業

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	208,274
	決算	
	事業費 (A)	199,454
	人件費 (B)	8,820
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
要支援者に対する支給率	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	発達支援教育推進事業				23,549	20,889	0.3			0.2	
2	就学援助事業				178,713	173,253	0.7			0.2	
3	通学支援事業				6,012	5,312	0.1				
計					208,274	199,454	1.1	0.0	0.0	0.4	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業目的・事業対象

発達支援学級等に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減し、発達支援学級への就学を支援する。

◇事業の概要

発達教育就学奨励費

対象者: 小学校の発達支援学級等に就学する児童の保護者

支給基準: 保護者の負担能力の程度

対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学児童学用品費、拡大教材費、交流学习交通費、修学旅行費、校外活動費、通学費、学校給食費

支給科目: 扶助費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務(法令義務)	特別支援学校への就学奨励に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	20,889
	決算	
	国・県支出	7,311
	市債	
	その他	
	一般財源	13,578
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,660
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.2

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
要支援者に対する支給率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 就学援助事業

◇事業目的・事業対象

経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者の負担を軽減し、小学校への就学を支援する。

◇事業の概要

就学援助費

対象者: 経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者

対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学児童学用品費、体育実技用具費、修学旅行費、校外活動費、通学費、学校給食費、医療費

支給科目: 扶助費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S31	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校教育法	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	173,253
	決算	
	国・県支出	1,730
	市債	
	その他	
	一般財源	171,523
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		5,460
人工	正規	0.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.2

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
要支援者に対する支給率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 通学支援事業

◇事業目的・事業対象

学校統合等により通学距離が遠距離となり、多大な時間や経費を要する児童の保護者の経済的な負担を解消・軽減するため、通学に要する経費を支援する。

◇事業の概要

【遠距離通学費援助事業】

- ・対象者 学校統廃合等により通学距離が遠距離となる児童の保護者
- ・対象地域 浜北・天竜・春野・佐久間・水窪・龍山・三ヶ日の各地域
- ・対象経費 通学費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	5,312
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	5,312
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
要支援者に対する支給率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 中学校教育総務費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

保護者の経済的負担を軽減し、すべての子供が安心して就学し、学び続けることができる教育環境を整備する。

- 1 発達支援教育推進事業
- 2 就学援助事業
- 3 通学支援事業
 - ・遠距離通学費援助事業

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	218,244
	決算	
	事業費 (A)	209,984
	人件費 (B)	8,260
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
要支援者に対する支給率	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	発達支援教育推進事業				22,322	19,942	0.3			0.1	
2	就学援助事業				184,467	179,287	0.7			0.1	
3	通学支援事業				11,455	10,755	0.1				
計					218,244	209,984	1.1	0.0	0.0	0.2	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業目的・事業対象

発達支援学級等に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減し、発達支援学級への就学を支援する。

◇事業の概要

発達教育就学奨励費

対象者: 中学校の発達支援学級等に就学する生徒の保護者

支給基準: 保護者の負担能力の程度

対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学生徒学用品費、拡大教材費、交流学习交通費、修学旅行費、校外活動費、職場実習交通費、通学費、学校給食費

支給科目: 扶助費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務(法令義務)	特別支援学校への就学奨励に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	19,942
	決算	
	国・県支出	6,979
	市債	
	その他	
	一般財源	12,963
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,380
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.1

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
要支援者に対する支給率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 就学援助事業

◇事業目的・事業対象

経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者の負担を軽減し、中学校への就学を支援する。

◇事業の概要

就学援助費

対象者: 経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者

対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学生徒学用品費、体育実技用具費、修学旅行費、校外活動費、職場実習交通費、通学費、学校給食費、医療費

支給科目: 扶助費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S31	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校教育法	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	179,287
	決算	
	国・県支出	2,826
	市債	
	その他	
	一般財源	176,461
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		5,180
人工	正規	0.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.1

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
要支援者に対する支給率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 通学支援事業

◇事業目的・事業対象

学校統廃合等により通学距離が遠距離となり、多大な時間や経費を要する生徒の保護者の経済的な負担を解消・軽減するため、通学に要する経費を支援するもの。

◇事業の概要

【遠距離通学費援助事業】

- ・対象者 学校統廃合等により通学距離が遠距離となる生徒の保護者
- ・対象地域 天竜・春野・佐久間・水窪・龍山・引佐の各地域
- ・対象経費 通学費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S38	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	10,755
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	10,755
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
要支援者に対する支給率(%)	-	100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 幼稚園教育総務費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

保護者の経済的負担を軽減し、すべての子供が安心して就園し、学び続けることができる教育環境を整備する。

1通学支援事業
・遠距離通園費援助事業

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,701
	決算	
	事業費 (A)	1,001
	人件費 (B)	700
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
要支援者に対する支給率	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	通学支援事業				1,701	1,001	0.1				
計					1,701	1,001	0.1	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 通学支援事業

◇事業目的・事業対象

幼稚園統廃合等により通園距離が遠距離となり、多大な時間や経費を要する園児の保護者の経済的な負担を解消・軽減するため、通園に要する経費を支援するもの。

◇事業の概要

【遠距離通園費援助事業】

- ・対象者 幼稚園統廃合等により通園距離が遠距離となる園児の保護者
- ・対象地域 天竜・春野・佐久間
- ・対象経費 通学費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S38	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,001
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	1,001
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
要支援者に対する支給率(%)	-	100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 育英事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

奨学金の貸与
教育の機会均等を図り、将来社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

◇政策のコスト（千円）

◇政策のコスト（千円）		H27
年関係費(A+B+C)	予算	93,400
	決算	
	事業費 (A)	87,800
	人件費 (B)	5,600
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
貸与適格者への支給率	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	育英事業				93,400	87,800	0.8				
計					93,400	87,800	0.8	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 育英事業

◇事業目的・事業対象

経済的な理由のために修学困難である成績優秀な大学生等に対して、教育の機会均等を図り、将来社会に貢献し得る有能な人材を育成するため、奨学金を貸与する。

◇事業の概要

1 市内に住所を有する者の子で、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校に進学する希望者のうちから、奨学生を決定し奨学金を貸与する。

- ①貸与月額 45,000円以内
- ②新規貸与人数 50人以内
- ③貸与期間 奨学生が在学する学校の正規の修業期間
- ④償還方法 貸与終了後、貸与期間の2倍に相当する期間内に、年賦又は半年賦で償還。

2 佐久間・水窪・龍山地区に住所を有する者の子で、下宿等の自宅外から高等学校に通学する希望者のうちから、奨学生を決定し奨学金を貸与する。

- ①貸与月額 30,000円以内
- ②新規貸与人数 3人程度
- ③貸与期間 奨学生が在学する学校の正規の修業期間
- ④償還方法 貸与終了後、貸与期間の2倍に相当する期間内に、年賦又は半年賦で償還。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S40	—	特別会計	自治事務(その他)	浜松市奨学金貸与条例・同施行規則	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	87,800
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	996
	一般財源	86,804
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		5,600
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
貸与適格者への支給率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 学校施設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

天竜区における教職員住宅の維持管理や、浜松市学校教育振興基金の管理を行う。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	24,336
	決算	
	事業費 (A)	17,076
	人件費 (B)	7,260
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
財産を有効利用するための教職員住宅への入居率(入居者数/部屋数)	%	75	目標	57
			実績	
教育水準の向上を維持するための教職員住宅への入居率(入居者数/入居希望者数)	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	教職員住宅管理事業				10,873	9,213	0.2		0.1		
2	学校教育振興基金積立金				1,799	1,099	0.1				
3	学校施設運営経費				11,664	6,764	0.7				
計					24,336	17,076	1.0	0.0	0.1	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教職員住宅管理事業

◇事業目的・事業対象

天竜区における教職員住宅の維持管理経費。
アパートなどの民間賃貸住宅のないへき地等の学校に勤務する教職員に住宅を確保する。

◇事業の概要

教職員住宅(天竜1施設・春野5施設・佐久間3施設・水窪3施設・龍山1施設)の施設を維持管理する。
入退去の管理及び貸付料の徴収を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S38	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市教職員住宅管理規則	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	9,213
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	9,213
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		1,660
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	0.1
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
財産を有効利用するための教職員住宅への入居率(入居者数/部屋数)		57			75
教育水準の向上を維持するための教職員住宅への入居率(入居者数/入居希望者数)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 学校教育振興基金積立金

◇事業目的・事業対象

学校教育振興基金に対する寄附金、基金運用収入及び国庫納付金相当額の積立金

◇事業の概要

学校教育振興基金に対する寄附金、基金運用収入及び国庫納付金相当額を積み立てるもの。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S49	-	一般会計	自治事務(その他)		-	

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,099
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	1,099
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 学校施設運営経費

◇事業目的・事業対象

学校施設課運営に係る旅費、消耗品等の必要な経費を確保し、学校施設環境の向上を図る。

◇事業の概要

学校施設課運営経費

- 旅費 (管内旅費、管外旅費)
- 需用費 (消耗品、新聞図書費、印刷製本費)
- 役務費 (郵便料)
- 委託料 (臨:PCB廃棄物分別調業務)
- 使用料及び賃借料 (会場借上、その他使用)
- 負担金 (静岡県公立学校施設整備期成会負担金、全国施設主管課長協議会分担金、全国公立学校建築技術協議会会費、特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料、冷凍及び空調施設に係る保安講習会受講料)、省エネ法管理講習負担金)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		-	

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	6,764
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	6,764
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,900
人工	正規	0.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 小学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

市内の小学校を適正に管理・運営し、児童が安心して学べる環境づくりを図ため、光熱水費等の管理用経費の確保や施設の保守点検及び維持管理を進める。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,346,290
	決算	
	事業費 (A)	1,327,110
	人件費 (B)	19,180
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
小学校運営用経費の確保(達成率)	%	100	目標	100
			実績	
小学校施設の保守点検及び維持管理(年間実施率)	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	小学校運営事業				1,086,966	1,072,966	1.6			1.0	
2	小学校管理事業				259,324	254,144	0.6	0.2	0.1		
計					1,346,290	1,327,110	2.2	0.2	0.1	1.0	0

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 小学校運営事業

◇事業目的・事業対象

市内の小学校を適正に管理・運営し、児童が安心して学べる環境づくりを図る。

◇事業の概要

学校管理運営上において必要な光熱水費、管理用経費等の経費を確保し、充実した学校運営を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計			—	

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,072,966
	決算	
	国・県支出	10,666
	市債	
	その他	606
一般財源		1,061,694
一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		14,000
人工	正規	1.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
光熱水の使用量前年比3%削減【資源を大切にす運動】		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 小学校管理事業

◇事業目的・事業対象

児童が夢と希望をもって学び続ける環境づくりのための学校管理事業

◇事業の概要

学校管理委託事業

- ・市立小学校施設の保守点検及び維持管理を行う。

学校用地借上事業

- ・小学校用地の賃借
- ・借地のある学校 26校
- ・借上げ面積 55,228.51㎡

余裕教室開放事業

- ・空き教室の市民への開放
- ・事業を円滑に実施するために施設利用委員会に対し、開放にかかる手続きを委託

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	254,144
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	254,144
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		5,180
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	0.2
	再任用(h26)	0.1
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
法令保守点検(年間実施率)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 小学校建設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

子どもたちが安心して学べる環境整備を整えるため、市内の小学校施設について改修事業・改築事業整備を進める。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	3,443,584
	決算	
	事業費 (A)	3,396,504
	人件費 (B)	47,080
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
事業計画に沿った改修及び改築(進捗率)	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	小学校建設事業		○		1,873,350	1,853,610	2.5			0.8	
2	規模適正化校舎建設・施設整備事業		○		1,019,074	1,004,794	1.8			0.6	
3	学校施設整備事業		○		551,160	538,100	1.6	0.3	0.3		
計					3,443,584	3,396,504	5.9	0.3	0.3	1.4	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 小学校建設事業

◇事業目的・事業対象

子どもたちが安全で安心して学べる教育環境を整えるため、小学校の施設について改修事業・改築事業などの整備を進めます。

◇事業の概要

井伊谷小学校校舎改築工事、白脇小学校校舎増改築工事、初生小学校増築工事、県居小学校校舎大規模改造工事、赤佐小学校校舎大規模改造工事実施設計、鴨江小学校校舎大規模改造工事実施設計、佐久間小学校給水設備改修工事実施設計

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S30	—	一般会計	自治事務(法令義務)	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等の関する法律	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,853,610
	決算	
	国・県支出	310,560
	市債	368,000
	その他	
	一般財源	1,175,050
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		19,740
人工	正規	2.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.8

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
増改築・大規模改造工事(校数)		2			34

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 規模適正化校舎建設・施設整備事業

◇事業目的・事業対象

学校の統廃合に伴う施設整備を進めます。

◇事業の概要

中部地区小中一貫校整備工事

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H25	H29	一般会計	自治事務(法令義務)	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等の関する法律	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,004,794
	決算	
	国・県支出	73,508
	市債	85,300
	その他	
	一般財源	845,986
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	14,280
人工	正規	1.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.6

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 学校施設整備事業

◇事業目的・事業対象

市立小学校の建物、敷地等の維持・補修等を行うことによって、適正な財産管理と学校環境整備の充実を図るもの。
破損・老朽化等によって劣化した施設設備を改修し、昨日復旧を図る。また、生活様式や時代の変遷に沿ったより良好な教育環境を目指し、新たな機能を付加する工事を行う。

◇事業の概要

- ・緊急を要する箇所や施設管理上重要な箇所を重点的に改修・復旧し、施設の延命化を図る。
- ・学校施設の対する新たな需要に対して、その必要性及び必要な数量を精査し、効率的で効果的な整備方法を検討・実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	538,100
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	300,000
	一般財源	237,038
	一般会計繰入金	1,062
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		13,060
人工	正規	1.6
	再任用(h31)	0.3
	再任用(h26)	0.3
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
学校からの修繕要望に対する対応(達成率)		50			60

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 中学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

市内の中学校を適正に管理・運営し、児童が安心して学べる環境づくりを図ため、光熱水費等の管理用経費の確保や施設の保守点検及び維持管理を進める。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	802,803
	決算	
	事業費 (A)	787,483
	人件費 (B)	15,320
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
中学校運営用経費の確保(達成率)	%	100	目標	100
			実績	
中学校施設の保守点検及び維持管理(年間実施率)	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	中学校運営事業				655,327	644,827	1.1			1.0	
2	中学校管理事業				147,476	142,656	0.6	0.1	0.1		
計					802,803	787,483	1.7	0.1	0.1	1.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 中学校運営事業

◇事業目的・事業対象

市内の中学校を適正に管理・運営し、生徒が安心して学べる環境づくりを図る。

◇事業の概要

学校管理運営上において必要な光熱水費、管理用経費等の経費を確保し、充実した学校運営を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	644,827
	決算	
	国・県支出	6,666
	市債	
	その他	3
	一般財源	638,158
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	10,500
人工	正規	1.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
光熱水の使用量前年比3%削減【資源を大切にす運動】入(達成率)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 中学校管理事業

◇事業目的・事業対象

生徒が夢と希望を持って学び続ける環境づくりのための学校管理事業

◇事業の概要

学校管理委託事業
 ・市立中学校施設の保守点検及び維持管理を行う。
 学校用地借上事業
 ・中学校用地の賃借
 ・借地のある学校 5校
 ・借上げ面積 32,416.83㎡

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計	自治事務(その他)		—	

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	142,656
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	142,656
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,820
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	0.1
	再任用(h26)	0.1
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
法令保守点検(年間実施率)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 中学校建設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

子どもたちが安心して学べる環境整備を整えるため、市内の中学校施設について改修事業・改築事業整備を進める。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	2,045,768
	決算	
	事業費 (A)	2,014,228
	人件費 (B)	31,540
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
事業計画に沿った改修及び改築(進捗率)	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	中学校建設事業		○		1,759,848	1,740,668	2.5			0.6	
2	学校施設整備事業		○		285,920	273,560	1.5	0.3	0.3		
計					2,045,768	2,014,228	4.0	0.3	0.3	0.6	0

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 中学校建設事業

◇事業目的・事業対象

子どもたちが安全で安心して学べる教育環境を整えるため、中学校の施設について、改修事業・改築事業などの整備を進めます。

◇事業の概要

浜名中学校移転新設工事、蛸塚中学校校舎改築工事、江西中学校校舎改築工事基本・実施設計、可美中学校体育館改築工事、江南中学校校舎大規模改造工事、細江中学校外壁改修工事

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S30	—	一般会計	自治事務(法令義務)	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等の関する法律	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,740,668
	決算	
	国・県支出	63,847
	市債	1,520,200
	その他	100,000
	一般財源	56,621
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		19,180
人工	正規	2.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.6

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
改築・大規模改造工事(校数)		2			16

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 学校施設整備事業

◇事業目的・事業対象

市立中学校の建物、敷地等の維持・補修等を行うことによって、適正な財産管理と学校環境整備の充実を図るもの。
破損・老朽化等によって劣化した施設設備を改修し、昨日復旧を図る。また、生活様式や時代の変遷に沿ったより良好な教育環境を目指し、新たな機能を付加する工事を行う。

◇事業の概要

- ・緊急を要する箇所や施設管理上重要な箇所を重点的に改修・復旧し、施設の延命化を図る。
- ・学校施設の対する新たな需要に対して、その必要性及び必要な数量を精査し、効率的で効果的な整備方法を検討・実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	273,560
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	200,000
	一般財源	73,214
一般会計繰入金		346
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		12,360
人工	正規	1.5
	再任用(h31)	0.3
	再任用(h26)	0.3
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
学校からの補修要望に対する対応(達成率)		50			60

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 文教施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

文教施設が災害を受けた場合の復旧を行う。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	129,020
	決算	
	事業費 (A)	120,000
	人件費 (B)	9,020
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
災害復旧工事の毎年度復旧(完了率)	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	文教施設災害復旧事業				129,020	120,000	1.2	0.1	0.1		
計					129,020	120,000	1.2	0.1	0.1	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 文教施設災害復旧事業

◇事業目的・事業対象

暴風、洪水、地震等の天災によって起こる文教施設の損害を原状に復旧するために災害復旧事業を実施して、市内小・中学校を適正に運営し、児童・生徒が安心して学べる環境づくりを図る。

◇事業の概要

文教施設が受けた場合の災害復旧費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S30	-	一般会計	自治事務(法令義務)	公立学校施設災害復旧費 国庫負担金	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	120,000
	決算	
	国・県支出	13,333
	市債	55,000
	その他	
	一般財源	51,667
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		9,020
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	0.1
	再任用(h26)	0.1
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
災害復旧工事の毎年度復旧(完了率)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

意欲あふれる人材を適材適所に配置する
魅力ある優秀な教職員を確保する
教職員の健康状態の把握

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	275,333
	決算	
	事業費 (A)	90,113
	人件費 (B)	185,220
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
教員採用試験志願者数	人	680	目標	600
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	県費負担教職員権限移譲準備事業		○		133,300	78,000	7.5			1.0	
2	教職員管理運営経費				142,033	12,113	17.8			1.9	
計					275,333	90,113	25.3	0.0	0.0	2.9	0

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 県費負担教職員権限移譲準備事業

◇事業目的・事業対象

県費負担教職員の給与等の権限が県から指定都市へ委譲されることに伴い、その受け入れ態勢の準備を行う。

◇事業の概要

市職員と給与・手当での異なる県費教職員のサービス管理、給与支払いのためのシステム構築。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H27	H29	一般会計	自治事務(その他)	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	78,000
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		55,300
人工	正規	7.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 教職員管理運営経費

◇事業目的・事業対象

- ・意欲にあふれ、浜松市の教育を推進するに相応しい指導力、資質・能力を有する人材を適材適所に配置する。
- ・市内小中学校の退職及び欠員補充するとともに、夢と希望をもって学び続ける「世界にはばたく市民」を育成するに相応しい教員を発掘する。
- ・市内小中学校に勤務する静岡県で給与を負担する教職員(県費負担教職員という)の給与等を決定、支給手続

◇事業の概要

- ・市内小中学校の教職員の人事管理、給与管理を行う。
- ・市内小中学校の退職及び欠員補充のため採用試験を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H1		一般会計	自治事務(その他)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	12,113
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		129,920
人工	正規	17.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.9

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
教職員の移動率		25			25
教員採用試験志願者数		600			680

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 小学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

教職員の健康状態の把握
用務員業務の委託化

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	8,520
	決算	
	事業費 (A)	
	人件費 (B)	8,520
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
用務員業務新規委託校数	校	14	目標	1
			実績	
健康診断受診率	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	教職員管理事業				5,580		0.3	0.5		0.6	
2	学校教育指導支援員配置事業				2,940		0.3			0.3	
計					8,520	0	0.6	0.5	0.0	0.9	0

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教職員管理事業

◇事業目的・事業対象

- ・小学校の県費負担教職員の健康状態を把握するため、定期健康診断等を実施する。
- ・小学校の環境整備を行うため、清掃等用務員業務を委託実施する。

◇事業の概要

人事管理事業

- ・県費負担教職員健康診断の実施
- ・県費負担教職員指定年齢健康診断の実施
- ・県費負担教職員結核健康診断の実施
- ・県費負担教職員人間ドッグ
- ・臨時的任用教職員健康診断の実施

学校用務員業務委託事業

- ・正規用務員の退職不補充や職種変更を行い、民間活力を導入し用務員業務委託を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H1	—	一般会計	自治事務(法令義務)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	275,216
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		5,580
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	0.5
	再任用(h26)	
	非常勤	0.6

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
健康診断受診率(%)		100			100
用務員業務新規委託校		2			8

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 教職員管理事業

◇取組概要

退職者や職種変更者の不補充に伴う、学校用務員業務民間委託により、事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する口にチェック)

行政経営計画 取組番号 5002
取組事項名 学校用務員業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	新たな学校用務員業務民間委託数(校)※最終値は4年間の累計	2	0	1	3	6
	計画値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		9,848	16,800	9,800	19,400	55,848

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 学校教育指導支援員配置事業

◇事業目的・事業対象

児童に対しきめ細かな指導をするために、小学校に支援員を配置し、教育体制の充実を図る。

◇事業の概要

- ・学校図書館補助員の配置
- ・小学校学習支援員の配置
- ・複式学級等指導支援員の配置
- ・小学校指導支援員の配置

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H11	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校図書館 補助員設置要綱外	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	157,645
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,940
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.3

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
支援員、補助員の配置数		229			234

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 中学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

教職員の健康状態の把握
用務員業務の委託化
きめ細かな指導のための教育体制の充実

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	9,360
	決算	
	事業費 (A)	
	人件費 (B)	9,360
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
用務員業務新規委託校数	校	7	目標	2
			実績	
健康診断受診率	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	教職員管理事業				4,600		0.2	0.5		0.5	
2	学校運営事務補助員配置事業				2,800		0.2			0.5	
3	学校教育指導支援員配置事業				1,960		0.2			0.2	
計					9,360	0	0.6	0.5	0.0	1.2	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教職員管理事業

◇事業目的・事業対象

- ・中学校の県費負担教職員の健康状態を把握するため、定期健康診断等を実施する。
- ・中学校の環境整備を行うため、清掃等用務員業務を委託実施する。

◇事業の概要

人事管理事業

- ・県費負担教職員健康診断の実施
- ・県費負担教職員指定年齢健康診断の実施
- ・県費負担教職員結核健康診断の実施
- ・県費負担教職員人間ドッグ
- ・臨時的任用教職員健康診断の実施

学校用務員業務委託事業

- ・正規用務員の退職不補充や職種変更を行い、民間活力を導入し用務員業務委託を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H1	—	一般会計	自治事務(法令義務)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	93,157
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,600
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	0.5
	再任用(h26)	
	非常勤	0.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
健康診断受診率(%)		100			100
用務員業務新規委託校		2			4

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 教職員管理事業

◇取組概要

退職者や職種変更者の不補充に伴う、学校用務員業務民間委託により、事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する口にチェック)

行政経営計画 取組番号 5002
取組事項名 学校用務員業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	新たな学校用務員業務民間委託数(校)※最終値は4年間の累計	2	0	3	0	5
	計画値					
2						
	計画値					
3						
	計画値					
効果額 (千円)		423	0	19,400	2,800	22,623
加算						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 学校運営事務補助員配置事業

◇事業目的・事業対象

小・中学校の教員の事務負担軽減と、教員が子どもと向き合う時間を確保するために、教員が行う事務を補助するために配置する。

◇事業の概要

・学校運営事務補助員を配置する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H27	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	20,593
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
一般財源		
一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,800
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
学校運営事務補助員の配置数		13			49

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 学校教育指導支援員配置事業

◇事業目的・事業対象

生徒に対しきめ細かな指導をするために、中学校に支援員を配置し、教育体制の充実を図る。

◇事業の概要

- ・学校図書館補助員の配置
- ・養護教諭補助員の配置
- ・中学校指導支援員の配置

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H11	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校図書館補助員設置要綱外	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	44,069
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
一般財源		
一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		1,960
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.2

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
支援員、補助員の配置数		71			80

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

青少年の健全育成や市民の健康増進のため、教育施設の整備、充実を図る。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	128,200
	決算	
	事業費 (A)	107,200
	人件費 (B)	21,000
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
施設利用者数(人)	人	45320	目標	45000
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	かわな野外活動センター管理運営事業		○		128,200	107,200	3.0				
計					128,200	107,200	3.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) かわな野外活動センター管理運営事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 自然の中での共同生活を通じて、青少年の健全な育成と市民の健康増進を図るため、施設の維持管理を行うとともに体験学習に関する活動計画作成への支援や活動中における引率者への支援を行う。
 【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【維持管理事業】
 舎営施設(少年自然の家)、野営施設等の維持管理を行う。
 【施設整備事業】
 小中学校・高校生の集団宿泊訓練やスポーツ少年団等の合宿などの受入や炊飯体験、自然観察、クラフト製作、沢登り、ハイキング等の自然体験活動を行うための施設整備を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S60		一般会計	自治事務(その他)	浜松市かわな野外活動センター条例・施行規則	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	107,200
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	107,200
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		21,000
人工	正規	3.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
施設利用者数(人)		45000			45320

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み